

平成 28 年 4 月 13 日

研究集会等の実施にあたっての注意事項

数学協働プログラムにおいて採択されたワークショップやスタディグループなどの研究集会等の実施にあたっては、特に以下の点に留意してください。

- 数学・数理科学の側だけでなく、ポスター・チラシなどを通して、協働相手となる諸科学・産業界に向けた広報に努めてください（申請時に広報の予算を十分に計上していない場合は、見積書とともに数学協働プログラム事務局に相談してください）。
- 研究集会等の広報およびその成果においては、「文部科学省委託事業 数学協働プログラム（受託機関：統計数理研究所）」に基づくものであることを明記してください。なお、数学協働プログラムおよび統計数理研究所の英語名は、それぞれ **The Cooperation with Mathematics Program**（略称：**The Coop with Math Program**）、**The Institute of Statistical Mathematics** です。
- 研究集会等の開催案内（<http://coop-math.ism.ac.jp/event/schedule>）に最新の情報を適切に反映するように努めてください（これは本事業の公式記録の一部となります）。なお、研究集会等の内容を申請時より大幅に修正する場合は、実施前に数学協働プログラム事務局の許可が必要です。
- 【趣旨・目的】欄には、どのような方々に参加して欲しいか、また参加すればどのような情報が得られるかを含めてください。数学を専門としない方にも分かるような簡潔な文面をお願いします。本事業は数学協働を目的とするため、数学を専門としない方もご覧になられます。プログラムだけでは数学を専門としない方には、内容を推測しにくいからです。申請書に書いた【趣旨・目的】と一致する必要はありません。
- 経費の執行にあたっては、<http://coop-math.ism.ac.jp/download> で配布する配分経費申請方法および様式に従ってください。
- 研究集会当日は別途お渡しする受付名簿をお使いください（同等の情報があ

れば別の様式でも構いません)。

- 研究集会等の実施後 1 か月以内に実施報告書を提出していただく他、その後の追跡調査や広報にもご協力いただきます。
- 情報共有のために、講演スライドなどのファイルを、可能な限り、オンライン提出する実施報告につけて下さい。具体的な方法は、協働研究情報システム操作手引書 (<http://coop-math.ism.ac.jp/coop-manual130523.pdf>) PartII 第 3 節を参照ください。

数学協働プログラム事務局

coop-math-sec@ism.ac.jp